SEKONIC SYSttEM MEttER

modd L‐ 428説明書

式

社

「

「

「

「

一

・r7

東京都ll l与|ズ人IIサ4J田17 24 4

大阪市東区本田]2-25イi田Jl:/■ 41´ル

名古屋市中区115-8 4 カ=l´ル

東京都新宿区市ヶ番田田」3-8新イ|ヒル

03 192212153

06 120311571

0)212)|ヽl1201

03 1269)′ 241

お
買い
あ
げ
を
い
た
だ
き、ま
こ
と
に
あ
り
が
と
う
ご
ざい
ま
す。
こ
の
取
扱
い
説
明
書
を
よくお
読
み
い
た
だ
い
て、セ
コ
ニ
ッ
ク・ シ
ス
テ
ム
メ
ー
タ
ー
L-428の
性
能
を
十
分
に
ご活
用くだ
さ
い。
―
ヽ
■
目
次
こ
の
露
出
計
の
特
長
…
…
…
…
…
…
…
… 2
仕
様
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
… 4
各
部
の
名
称
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
… 6
準
備
1・
ゼ
ロ
位
置
の
確
認
と
調
整
…
…
…
… 8
2・
電
池
を
入
れ
ま
す
…
…
…
…
…
…
… 9
3・
バ
ッ
テリー
チ
ェ
ッ
ク
…
…
…
…
…10
標
準
付
属
品
の
使
用
法
入
射
光
式
の
測
定
1・
光
球
を受
光
部
ヘ
セ
ットし
ま
す
…12
2・
フ
イ
ル
ム
感度
を
セ
ットし
ま
す
…12
3・ H・ Lレ
ン
ジ
の
切
換
え
…
…
…
…13
4・
測
定・露
出
の
読
み
とり…
…
…
…13
シ
ャ
ッ
タ
ロ
盛
の
中
間
値
表
示
…
…15
絞り目盛
の
中
間
値
表
示
…
…
…
…15
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン
の
ロ
ッ
ク
…
…
…15
5。
エ
ク
ス
ポ
ジ
ャ
ー
バリュ
ー
(Ev数
値
の
読
み
とり)…
…
…・16
反
射
光
式
の
測
定
…
…
…
…
…
…
…
…
…18
コ
ントラ
ストの
測
定
…
…
…
…
…
…
…20
照度 (ル
ク
ス)の
測
定
…
…
…
…
…
…21
特
別
付
属
品 (別
売り)…
…
…
…
…
…・22
取
扱
上
の
注
意
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…23
MEMO…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…
…24

この露 111計の特長
・ 高精度システムメーター構成図
*受光素子にシリコン受光夕・イオー
ドの採用で、光応答1生が照|■ の高
低に関係なく早くなりました。
*安定′‖:と精度をいちだんと向 Lさ
せています。
・使いやすさ
*読みやすいH, L, 2段 ly」 換えと
等H司隔目盛の採用により目盛のど
の位置でも容易に読みとれます。
*‖1定範llllは、Ev-3～ +18まで
の広城Iu定ができます。
*受光部は自由に回転できます。
回転角度 =イ f方向200°
ノli方向100°
*指針は振れた位置で、そのまま固
ウLすることができます。 (指針ス
トッパー機構)
*スイッチボタンのロック機lltは、
ON(測光)、 OFF(指針固定 ・格
納時)のいずれの場イ)も使用する
ことができます。
・ 信頼性
*内部回路は、高信頼1■ の電子部品
とプリント基板を採用しましたの
で、長期間1にわたつて安定した性
能を保持します。
4・ 豊富なアクセサリー
*使用日的に応して、自由に構成で
きるシステム露出計です。目的に
応した各種の付属品があります。
*標準付属品として
・光球 ・光角度板 ・白色平llk
*特別付属品として {別売)
・ビューフアインダー
(受光角10° のアタンチメント)
・り1伸機用アタッチメント
(引伸機の露出測
'L用
)
・ピンポイント用アタンチメント
(ビューカメラの焦点面のtT度分
布‖1定用)
・顕微鏡用アタッチメント
(顕微鏡撮影の露11測定用)
・および各アタッチメント専用ダ
イアル
・ムービー (映画)用ダイアル
(ムービーIIt影時の露出、計算11)
ビューファインダー(専用ダイアル付)
引伸機用 (専用ダイアル付)
‐
‐
‐
‐
一
‐
‐
‐
‐
‐
‐
十
一
ピンポイント用 (専用ダイアル付)
ムービー用専用ダイアル
顕微鏡用 (専用ダイアル付)
[_ゝ

仕様
測定方式
測定範囲
測定精度
受光部
目盛
・入射光式、反射光式兼用
(目的により各アタッチメント、ダイアル取換えが可能)
・ リニヤースケールによるH,L,2段切換え
・入射光式 (光球使用)
Lレンジ=Ev-3～ 8(A S Aloo)
Hレンジ=Ev8～ 18(A S Aloo)
・反射光式 (光角度板使用)
Lレンジ=Evl～ 12(A S A100)
Hレンジ=E v12～ 22(A S Aloo)
・±1/4E v以内
・入射光式……光球および白色平板
・反射光式……光角度板 (受光角40°)受光角10° のビューファインダー
各種アタッチメント
・素子……シリコン受光ダイオード
フィルターによる視感度補正
・ASA=0.8～ 25,000
・ DIN=o～ 45
・絞り=1～ 90
電源
電子回路
校正定数
大きさ
重量
その他 :
標準付属品 :
特別付属品 :
・シャッタ速度=60分 ～1/4000秒
・Ev値 =7～ 24
・酸化銀電池 JIS記号G13(1.5V)4個
・オールトランジスタ方式
。C=340 ・K=12.5
・136× 65× 47nun
・約280g(電池含む)
・バッテリーチェッカー機構
・指針ストッパー機構
・スイッチボタンロック機構
。光球、光角度板、白色平板、ストラップ
・ ビューファインダー、引伸し用アタッチメント、ピンポイント用
アタッチメント、顕微鏡用アタッチメント各々の専用ダイアル、
およびムービー用ダイアル

各部の名称
光球①
回転受光部②
ロックレバー|⊃
スイッチボタン0
バッテリーチェックマーク]|
指針0
ライトロ盛71
スケール板 J
ゼロマーク3
H・ L切換ノフlp
Ev目盛 n
入射標示マーク |
ダイアルライトロ盛 li
フィルム感度切換ノフ ||
反射標示マーク「5
ASA目盛 |
DIN目盛 17
ダイアル取付ネジ |
絞り目盛 0
シャッタ速度目盛●
ストラップ金具』
22バッテリーチェックボタン
´J電池ふた
21電池ふたロックネジ
白色平板 21 26光角度板

電
池
を
は
ず
し、スイ
ダイア
ル
取
付
ネ
ジ
を
は
す
すと、ダイア
ル
が
は
ず
れ
ま
す
セ
ロ
調
整
ネ
ジ
で
合
せ
ま
す
ゼ
ロ
位
置
の
確
認
と
調
整
ま
す
は
じ
め
に、指
針
⑥
が
ゼ
ロ
マ
ー
ク⑨
にi工
しく指/1tし
て
い
る
こ
と
を確
認
し
て
くだ
さ
い。
〔確
認
の
方
法〕
*電
池
を
は
ず
し、ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン④
を
押
し
て、指
針
⑥
の
卜1定
を
解
除
し
ま
す。指
針
⑥
は
左
に」、れ、ゼ
ロ
マ
ー
ク⑨
を
指
し
ま
す。
*ゼ
ロ
マ
ー
ク⑨
より指
針
⑥
が
ず
れ
て
い
る
と
き
は、調
整
を
お
こ
な
い
ま
す。
〔調
整
の
方
法〕
*ダ
イ
ア
ル取
付
ネ
ジ⑩
を、指
先
で、
反
時
計
方
向
に
ま
わ
し
ま
す
と、夕
｀イ
ア
ル
が
は
ず
れ
ま
す。
*ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン④
を
押
し
た
ま
ま、
ゼ
ロ
調
整
ネ
ジ
を、ドラ
イ
バ
ー
で
静
か
にL]転
さ
せ、指
針
を
ゼ
ロ
マ
ー
ク
⑨
に
あ
わ
せ
ま
す。
〔注
意〕
*電
池
は
か
な
ら
ず
とりだ
し
て
か
メっ、
ゼ
ロ
位
置
の
確
認
を
お
こ
を
っ
てくだ
さ
い。
*電
池S、た
の
開
け
か
た
は、次
項
を
参
Hlし
てくだ
さ
い。
2・
電
池
を
入
れ
ま
す。
電,也
は、 JIS言
己号・G13型 (1.5V)
酸
化
銀
電
池
を 4個
使
用
し
ま
す。
(Mallory MS-76H・ Eveready
S-76E・ Ray-0-Vac R S76G)
〔電
池
の
入
れ
か
た〕
*電 ,也 ´;、た
ロ
ッ
ク②
を、コ
イ
ン
な
ど
で、矢
印
の0記
号
‐(OPEN)の
lJ向
へ
ま
わ
し
ま
す。
*ま
わ
し
き
る
と、ロ
ッ
ク
ネ
ジ
がlllる
み、電
池」、た
④
が
軽くも
ち
あ
がり
ま
す。そ
の
ま
ま1用
い
てくだ
さ
い。
*電
池
のOЭ
の
極性
を確:認
し
て
か
ず,
1こ
池
ケ
ー
ス
内
の
極1■
の
指
示
どおり
に、左
イf211ず
つ、お
な
し
向
き
に
正
しくll入
し
ま
す。
*電
池
■、た
④
を
か
ぶ
せ
て、軽く指
先
でI口
さ
え、 lt,也 .∫ 、た
ロ
ッ
クCDを、
C側 (CLOSE)の 71J向 ´、ま
わ
し
て
い|ウと
し
てくだ
さ
い、
〔注
意〕
*電
池
を
入れ
る
と
き、1し
也の(lX三)ノ)
極1■
を
ま
ち
が
え
な
い
てくだ
さ
い.
*イ ll_り ||し
な
い
と
き
は、イ(|‖
し1に
ス
イ
ッ
チ
カミ入り、余り,な 1七
'也
ノ),1本 ιを
」、せくた
め
に、ス
イ /千
ボ
タ
ン
をOFFの
状
態
で
ロ
ノ
ク
す
るilイ ',貨
を
つ
け
てくだ
さ
い.
*1(‖
キ|11(lヵ l11111)イ
セ|llし
な。ヽ
‖キは、 1し ,也
を
と |'ノ
ざし
´〔、 1吃
十果
し
た
場|]:に
保
管
し
てくだ
さ
い
あ
ら
か
し
め
ゼ
ロ
位
置
の
確
認
を
ンチ
ボタンを押しま

3・ バッテリーチェック
電池が規定の電圧以下になりますと、
指針⑥は]11しい指示をしなくなります
ので、使用する前に、あ′)かしめ電圧
をチェックしてください。
〔チェックの方法〕
*スイッチボタン④は、OFFの状態
のままにしてください。
*本体うら側のバンテリーチェック
ボタン② を指で押しこみます。
*指針⑥がバッテリーチェンクマー
ク⑤の赤い枠内に達しない場合は
lEI二が低下していますので、新ら
しい1[池と交換してください。
標準付属品の使用法

入
射
光
式
の
測
定
光
球
を
使
用
の
と
き
i・
光
球
を
受
光
部
ヘ
セ
ット
光球 llを、卜1転
受
た
部②
せりつ
け
て
くだ
さ
い
とりつ
け
る
際、た球
のうr,
側
に
あ
るI′ i llと、受
光
部
の
とりつ
け||
」う|′ 1,1を
ノ)わ
せ
て
セ ′卜
し、‖キ|||ノ∫向
へ
青1か |二
ま
わ
す
と、た球
は
確
′●
こ「1,L
さ
ノtま
す
~
2・
フ
イ
ル
ム
感
度
を
セ
ット
使|llす
る
フ
イ'じ
`、
|よ lt t′)数
値
を
セ ′ト
し
てくだ
きヽヽ A S Aliイ |‖ 」の
指
標⑭
l二、 I)I NIま
ム11‖ ′)1旨 |ガ (3十
二
`率)′)→
き
ま
す
(あ
わ
せ
か
た〕
*フ
イ′に、感1支
切
オ1/ブ
⑭
を1旨 lL´ 〔
1甲
え :女
わ
し、人
ボ
窓 :′ ,中 :′)放
『 1を
1旨
標
に
セ ′卜
し
ま
す.
*写
真
で
は、A S A loo(DI N21)
に
セ ′卜
さ′して
い
ま
す
*フ
イ′し′、感
度
の
中||り 1に
は、表
のと
おりで
す
HoLレ
ン
ジ
の
切
換
え
「 訓〔IIの H(High)と、低
照度
測,こ
の
L(Low)の
切
換
え
は、H・ L tJJ換
ノ
ブ⑩
で
お
こ
な
い
ま
す。
こ
のH・ L切
換
ノ
ブ⑩
は、ラ
イト‖喘
⑦
ヒ
運動
し
て
い
ま
す
の
で、H・ L切
換
ノ
フ×Dを
ス
ラ
イドさ
せ
る
だ
け
で、ラ
イ
トH盛
⑦
のHレ
ン
ジ、Lレ
シ
ジ
のL7J換
ぇ
か「7ン
タ
ッチ
で
お
こ
な
え
ま
す
〔注
意〕
*測
'tを
お
こ
なうと
き
は、あ
ずっか
し
め Hレ
ン
シ・に
セ ′卜
し
て
か r,ぉ
こ
な ′てくだ
さ
い
*Hし
ン
シ|で
測
定
を
お
こ
な
い、指il
が
反‖キli lノ
メ1占]ヘ
ナitり
き
ノしたとき
は
ラィト|1盛C)を Lレ
ン
ジ
に
切1矢
え
‐〔‖1'Lし
ま1~
4・
測
定。露
出
の
読
み
とり
被
写
体
の11,tし
た
い|、ア世
かr,、
た
球
①
を
カ
メ
ラ
方
向|二
向
け
ま
す 1同
1云 ′そ
光
部(力
は、自
由
に
いl転
し
ま
す|
ケ′|11言 1本
体
をJliしくイ呆オ|し
て、ス
イ ′チ
ボ
タ
ン④
を
押
し
てくだ
さ
い。
指
針
⑥
は、明
る
さ
に
応
し
て
振
れ
ま
す。ス
イ ′チ
ボ
タ
ン④
を
離
し
ま
す
と、指
針
⑥lま
そ
の
位
置
で
同
'と
さ
れ
ま
す=
ｌ
に
■
Ｗ
凛
ｌ
Ｊ
蒻
鮨
閻
ヽ
９
ヽ
ヽ
ASA
0
DIN

c・ 指針⑥の指示したスケー′し板③の
ライト‖ャヽ⑦を誌みとります d スケー′レタえ③ 11で ti売みと´,たライ
ト‖喘⑦の数『 1を、タイア′レのラ
イト‖常ヽ⑬に移し、タイアルリン
グをいl転させて、6自 lの人射標示
マク⑫にあわせます。
e・ そのときの絞り‖盛⑩ と、シャン
タiム 1支 ‖喘⑩の組tみあわせが、迫
11:露 ||にをります,
〔注意〕
A S A 100のとき、指針⑥がライ
ト‖li tの 10を指した場イ)、 jttI露
|||は、f/28で 1/8不 1/N、 f/16で 4
秒、f/90で 2分なととなります。
〔シャッタ速度目盛⑩の表示〕
*白い数年表示
・1/sec― /60は、1/60秒です
・m(分)… … 30mは、30分です
*赤い数年表示
・ S(秒)… …15Sは、15秒です
*中 ||り H盛は、表のとおりとなりま
す。
〔シャッタ速度目盛の中間値〕
1ll,() lall
IJm
〔絞り目盛⑩の中間値表示〕
*小さな白点で表示した中間値の絞り目盛は、表のとおりです。
スイッチボタンのロック
スイッチボタン④には、べんりなロッ
ク機lltがついています。ON、 OFFの
いずれのときにも、スイッチボタンを
ロンクできます。
a・ OFFの状態でのロック
*不サ用意にスイッチボタン④ を押す
ことを防ざます。連距保管のと
き、むだな電池の消粍を防ざます。
*スイッチボタン④ を OFFのまま
でロンクレバー③ を矢印L方向に
まわします。
%あ % %

・■
峰蒙
b・ ONの状態でのロック
*指針⑥ を固定させずに測定をおこ
ないたいときに、べんりです。
*スイッチボタン④ を押しこんだ状
態のまま、ロックレバー③ を矢印
Lの方向へまわしてください。
*スインチボタン④から指を離して
も、ONのまま固定すること力゛で
きます。
*この状態を長い時間つづけますと
電池の消粍が著しくなります.′ Z、
要なときのみご利用ください,
C。ロックレバー③ の解除
*ロックレバー③ を矢印Lの,l17向
へ戻してください。口 ′クは角
さイします =除 t *ONの状態でロックしていたとき
は、ロンクレバー③ を引きおこし
て解除すると同時に、スイッチは
OFFとなります。
50エクスポジャー。バリュー
(Ev数値)の読みとり
ライトバリュー方式のシャンタと糸交り
の組みあわせを採サllしているカメラに
は、このェクスポジャー・バリューを
読みとってセントするとべんりです。
a。指針⑥が指示したスケール板③の
ライト11盛⑦の数ll● を読みとりま
す。
その数値を、夕・イアルライトロ盛
⑬に移し、ダイアルリングを回転
させ、人射標示マーク⑫ にあわせ
ます。 (反射光式脚l定のときは、
反射標示マーク⑮にあわせます)
c・ Ev指標矢印に示された Ev目盛
⑪が、適正なエクスポジャーバリ
ューとなります。

反射光式の測定
光/り芝板使り11のとミヽ
1・ 光角度板を受光部にセット
光角1芝板④は、i14写体の反射光`輝 |ユ | を‖1ち Lするときにil lllします_輝 1芝域
J71キ
`サ
11として、輝|たの‖1」 比 l llt′ 与:体
のコントラスト|を力るときに,Z、要な
ほか、人身寸た式では‖J,Lかイl lllliな場 r,
にもイllり |にきます
*た角|セ板めセット´,しかたは、た
'水
′り場イ)と 11」 Fitで 1‐
*´|て (11.えり
´
ジけて1)るソ亡」水を、 |え
‖ケi方占lへまわすヒ |ますブtま十
*そし′,1)と、光角|[‖よ⊃t卜 1転 /_t
劇;2)`′ ,マークに1)ノ)■ l〔 、時:i カ
占l´ 、まノ)し、占tt t_1:~
2・ フイルム感度をセット
*セ ′卜のしかたは、人坊1た人の11[
作と同|力 :です同
'真
IP 12,を参
照してください
3・ HoLレンジの切換え
*人功」光式の同項 (P131を参‖|し
てください同1ltの 1彙イ4:です
・ 測定。露出の読みとり
た角度板④ を、被写体の測ウLした
い簡所にlEしく向けます。 (受光
‖
`は
自由に回転します)
b・ できるだけ被写体に接近し、被写
体の i:要部からの反射光を』1定し
ます。このとき、露出計の影など
を‖1,こ筒耐1に入れないよう、 |う
に注心 ' iしてください。
C スインチボタン④ を押し、指針⑥
の指′卜したスケール板③のライト
‖輛⑦の数値を読みとります d その数値を、ダイア
'レ
ライト‖|よ
ri lに移し、タイアルリンクを回転
させて611の |え lll標示マーク⑮に
')わ
せます
e そのときの技り‖喘⑩ とシャノタ
‖鷺つの判Lみ ′)わせか、1直 li露 ||
ヒな)ます
〔注意〕
*タイア′レ11ノ ,入射標示マーク126
印と反射標示マーク138印とをま
′′がえないよう、i11む iしてくださtヽ
*|て ,1光式の測今Lグ)とき、標 ll lえ均|
klり1売り,を ■イ吏11になると
より liしい及『 1がえr,れま十

コ
ン
ト
ラ
ス
ト
の
源1定
ラ
イトロ
盛
の
数
イ直の
差
に
よ
る
コ
ン
トラ
スト比
は
表
のとおりで
す。
白
色
平
板
使
用
の
と
き
1・
自
色
平
板
を
受
光
部
に
セ
ット
、被
写
体
位
置
で、被
写
体
の
明
る
い
部
分
=
主
光
線 (主
光
源)と、暗
い
部
分=補
助
光
線 (補
助
光
源)を
そ
れ
ぞ
れ
測
定
し、
照
明
光
源
の
対
照
比 (コ
ントラ
スト比)
を
調
整
す
る
と
き
に
使
用
し
ま
す。
*白
色
平
板
⑮
の
セ
ットの
し
か
た
は、
光
球
の
セ
ットの
し
か
た
と
同
様
に
お
こ
な
っ
てくだ
さ
い。
*反
時
計
方
向
へ
ま
わ
す
と
は
ず
れ、時
計
方
向
へ
ま
わ
す
と
固
定
さ
れ
ま
す。
2・
測
定。対
照
比
の
読
み
とり
a・
露
出
計
を
被
写
体
位
置
で
保
持
し、白
色
平
板
④
の
中′し、を、主
光
源
の
中心
に
正
しく向
け
ま
す。
b・
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン④
を
押
し、ス
ケ
ー
ル板
③
の
ラ
イトロ
盛
⑦
の
数
値
を
読
み
とりま
す。
c・
同
様
の
操
作
で、補
助
光
源
の
ラ
イト
目
盛⑦
の
数
値
を
読
み
とりま
す。こ
の
場
合、主
光
源
か
ら
の
光
線
の
影
響
を
受
け
な
い
よう注
意
し、正
しく白
色
平
板
の
中′し、を、補
助
光
源
の
中′し、
に
あ
わ
せ
てくだ
さ
ぃ。
d・
主
光
源
と
補
助
光
源
の
ラ
イトロ
盛
の
数
値
の
差
を
求
め
てくだ
さ
い。主
光
源
と
補
助
光,原
の
数
値
の
差
が 1の
と
き、コ
ントラ
スト比
は 2:1と
な
りま
す。
e・
露
出
の
決
定
は、光
球
①
を
つ
け
て、
人射
光
式
の
一
般
的
な
方法
で
測
定
し
てくだ
さ
い。
ラ
イトロ
盛
の
差
コ
ントラ
スト比
|
|1/2
2
3
4
5
2
3
4
8
16
32
照
度
の
測
定
1・
白
色
平
板
を
受
光
部
に
セ
ット
1′ 1色 ｀r板
④
を
使
用
し
て、照
度
計
と
し
て
't'‖
す
る
こ
と
が
で
き
ま
す。
*白
色
平
板
⑮
を、光
球
①
と
同
様
の
操
作
で
受
光
部
に
セ
ントし
てくだ
さ
い
2・
測
定・ 照
度
の
読
み
とり
a・
受
光
部
の
白
色
平
板
が、測
定
面
と
平
行
に
な
る
ように
お
き
ま
す。 b
ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン④
を
押
し
ま
す。指
針⑥
は、明
る
さ
に
応
し
て
振
れ、指
針⑥
が
停
止
し
た
位
置
で、ス
イ
ッ
チ
ボ
タ
ン④
を
離
し
ま
す。指
針⑥
が
固
定
さ
れ
ま
す。
c・
指
針
⑥
が
左
側
に
振
れ
き
っ
た
と
き
は
H・ L切
換
ノ
ブ⑩
で、低
照度
ス
ケ
ー
ル
に
切
換
え
てくだ
さ
い。
d・
指
針
⑥
の
指
示
し
た
ス
ケ
ー
ル板
③
の
ラ
イトロ
盛
⑦
の
数fllを
読
み
とり、
換
算
表
に
より、11度 (ル
ク
ス)を
求
め
ま
す。
e・
中
間
値
を
求
め
る
と
き
に
は、次
の
係
数
を
乗
し
てくだ
さ
い。
十 1ん ¨……… 1 26
+1/2…
………… 141
+2/3…
……
… i59
〔例〕
*ラ
イトロ
盛
が 9/3の
と
き、 9の
照度
は l10で
す
か
ら、+/3の
係
数126を、‖0に
乗
じ
ま
す。
|10× 126=1386ル
ク
ス
と
なり
ま
す。
*同
様
に、 9/2は 155ル
ク
ス
92/3は 175ル
ク
ス
と
なりま
す。
21

別付属口叩房」ゲこ|))
ムービー用ダイアル
ムービー撮影をおこなうときに使用し
ます。測定方法は、入射光式、反射光
式ともにおなじ操作です。
ただし、露出の決定の際、ムービーカ
メラに適したコマ速度の表示になつて
いますので、撮影コマ速度に合致した
絞り値を読みとります。
(ムービー目盛の換算〕
*ムービー目盛は、撮影コマ表示で
次のようなシャッタ速度になつて
います。 (ムービーカメラのシャ
ッタ開角度が180° の場合)
。128コマ………%pSec
。 64コマ………ンlSec
・ 32コマ…… …/Sec
・ 24コマ……… %seC
*赤の線の表示
・ 18コマ…… …‰ Sec
*白の線の表示
・ 16コマ…………%sec
・ 8コマ… ……%sec
ビューファイングー
(受光角 10°)
反射光式測定の場合に使用します。ダ
イアルもセットで別売になっています。
取扱い上の注意
くテムメーター・L‐ 428は精密機械
|ので、下記の′点にご注意ください。
・落ド、または急激な衝撃は絶対に
さけてください。
卜,`1支の高温、多湿な場所には保管
しないでください。
・磁性に影響のあるところ、および
21J虫剤の入っているところでの保
11はさけるようにしてください。
(金属キャビネット、たんす等)
地球、白色平板は傷がつかないよう
に、また常に清潔に保つようにし
てください。 (汚れが著しヽヽとき
は、石けんを溶かしたぬるま湯で
よく洗浄してください)
万一故障がおきましたときには、最寄
の営業所、またはサービス・ステーシ
ョンにお持ちください。
お近くに、営業所またはサービス・ス
テーションがなく郵送される場合には
厚さ3 cln以上の衝撃よけパンキングに
包んでから、段ボールなどで梱包して
ください。